

## 地域密着型サービスの自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	祭りの参加、運動会、芋掘り、など地域の行事ごとへの参加等は行っている。	○ 今後、ミーティングや運営推進会などで話し合い、色々な事を検討していく。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ゆっくり楽しくを、もつとくに日々努力を行っている。日課や行事優先でなく、利用者様優先で過ごして頂いている。	○ ミーティングなどで理念についての話し合いを行っていく。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	入居された際、説明したり面会時に様子を伝える。	○ 今後多くの人にわかって頂けるよう検討していきたい。
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	見学者の受け入れ、散歩の方と会話. 挨拶. ごみ置き場の清掃。	○ 今後、皆で話し合い地域の方が気軽に、来ていただける様にしていきたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	働きかけは行っているが、地域の人も参加出来ない方も多いため、何回もお願いするが難しい。	○ 敬老会、老人会への働きかけなど、これからも行っていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会を利用し働きかけを行う。 認知症についての勉強会。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価後、ミーティングを活用し、検討会を実施。 危険物などの保管場所 事故報告後の検討会及びサイン。	○	今後も全員で取組んでいきたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	外部評価実施後の、調査表参考に説明し質問、意見を聞く。その他日々の活動内容を説明し、意見を頂いている。	○	2カ月に1回の計画を行っているが、実務多忙の為計画通りに実施できていないため、今後は実施できる様にしていきたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	今後検討していきたい。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	ミーティングにて、勉強会を行っている。 成年後見制度の活用をされている方があり、必要に応じ関係者で検討していきたい。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎朝の申し送り、ミーティングにて勉強会を行っている。声のかけ方、介護の行い方、入浴時全身のチェック。	○	ミーティングや必要に応じ行う。声かけの仕方や対応の仕方を今後も続けていく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>4. 理念を実践するための体制</b>				
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居前の見学時に、当施設の説明や家族の方の話を聞き、入居日に約款説明し納得されたからの契約を行っている。利用者の方には必要に応じ、一日の体験をして頂き 本人の希望や、不安な事を聞いている。</p>	○	<p>今後も家族の方利用者様の話を聞き納得されたの契約をしていきたい。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者様の話や訴えている事を聞く、又利用者様、職員での話し合いを随時行い改善、解決行っている。 定期的に利用者様と職員での話し合いを実施している。</p>	○	<p>利用者様の話や訴えている事を聞く、又利用者様、職員での話し合いを随時行い改善、解決行っていく。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>面会時日頃の様子を伝える、個人の小遣い帳の確認をしたり、用途に応じ金銭を預かる。病気などは、随時電話報告を行う。</p>	○	<p>今後も、定期的実施していきたい。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入居時や面会時に意見、等聞く様に心がけている又意見箱の設置しているが、あまり活用されていない。</p>	○	<p>まだ、意見やこうして欲しいと言う方が、少ない為今後意見を言ってもらえるようにしていきたい。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>ミーティング、申し送りノートの活用し、意見があれば、話し合い実施している。</p>	○	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>体調不良者等、必要に応じ職員を確保している。</p>	○	<p>今後も必要に応じ、勤務時間の調整や職員の確保の検討をしていきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者様への負担がないように、職員が心がけしながら対応を行っている。</p>		
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>一定期間の老健での介護技術の研修、認知症の方の対応の仕方の研修を実施。施設内で認知症の対応の仕方等の研修会が毎月実施され参加している。</p>	○	<p>今後も色々な研修参加をしていきたい。施設内研修の実施。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>定期的な他のグループホームとの交流会の実施している。</p>	○	<p>今後も色々検討し実施していく。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>色々レクレーションや飲み会は、行われているが職員体制上困難。（職員、派遣職員）</p>	○	<p>今後 関係者との話し合いが必要。</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>他に事業所があり、当施設のみ実施は難しい。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	認知度によって本人及び家族から相談員が対応にあたっており、入所前は管理者が直接会って話し合う機会を作っている。	○	相談に来られた際、全職員で対応できるようにしていきたい。気軽に相談できる環境づくりをしていきたい。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	認知症について詳しく説明をしたり、実際に施設内の見学をして頂いたりして、話し合う機会をもっている。	○	相談に来られた際、全職員で対応できるようにしていきたい。気軽に相談できる環境づくりをしていきたい。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談事に応じた、職種の職員との話し合いを実施。	○	今後も実施していきたい。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に、体験や訪問等を実施して、本人と家族が納得した上で利用できるよう対応している。	○	帰宅欲求や不穏等の訴えのある利用者の入居については時間をかけて対応していきたい。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	家庭に近い雰囲気の中で、本人の得意とすることを引き出し、日々の生活の中で、職員も共に多くのことを学ぶ機会を得ている。	○	得意とすることを発揮できない利用者に対する対応を職員一人一人が努力していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	本人の一番のよりどころは、家族であることを基本に考え、家族で協力できることは声かけをしお願している。	○	家族の状況をしっかり把握して、無理のないような協力依頼をしていきたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人と家族の情報把握をし全職員で統一して各ケースに合わせて対応している。認知症を理解して頂いたり、時には互いの距離をおく等の対応をしている。	○	より深く本人と家族との関係の理解に努めていきたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ふるさと訪問などの行事を取り入れ取り組んでいる。	○	個別等の友人との連絡を取り合ったり、訪問するなど実施していきたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	孤立することがないように会話ができる雰囲気を作ったり利用者同士で食事の声かけをするなどしている。	○	レベル低下の利用者に対して、利用者同士で励ましあえるような関係を作りたい。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退居先の相談に応じたり、本人家族のニーズにできるだけ対応できるよう努めている。大きな行事等ある場合は家族に声かけをおこなっている。	○	常に利用者や家族とよりよい関係を築けるよう今後も努力していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の意向は、ゆっくりとした入浴の時間や個別的に時間を作り、把握に努めている。また、家族には面会時や電話連絡等で把握している。	○ 明確な意向が聞き出せない方や家族についても、今後も本人の可能性を引き出せるよう努力していきたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族からの情報把握及び外来診察時の聞き取り情報をもとに把握している。	○ まだ不十分な点が多いので、生活に密着した情報収集に努めていきたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	バイタルチェック、ケア記録を記載して、日々の状態を把握している。	○ 今以上に記録等を参考にして、総合的な変化に対応していきたい。
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族の意見を十分に聞く機会を持ち、カンファレンスで得た情報を元に介護計画を作成している。	○ レベルの低下した方の介護計画もより充実したものにしていきたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	カンファレンスを開催して意見交換をしたり、他の職種の意見を聞いて見直しを行っている。医師の意見も参考にして、現状に即した介護計画を作成している。	○ 今後もカンファレンスの充実を図っていきたい。家族の参加ができていない状況なので、日程調整等行い、できるだけ参加して頂く。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケア記録を記載して、職員間の情報の共有に努めている。	○	職員1人ひとりが、状況を把握し記録できるようにしていく。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	特に実施していない。		今後検討していきたい。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	推進委員会を開催して、役員の方と取り組んでいる。	○	地域の方と今以上の幅広い支援を行って行きたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	実施していない。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	まだ、必要とするケースがないため、実施していない。	○	必要に応じて検討していきたい。



項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	併設の医師と相談し、家族の意向に沿うよう支援している。	○	家族の希望を大切にしていきたい。
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	併設の病院の専門医に協力依頼している。	○	状態報告や、相談を随時行い指示をいただいている。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員や併設の看護師に相談し、支援している。	○	今後も良い関係作りを心がけていきたい
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時サマリーを作成し情報の提供を行う。入院時、定期的に家族及び関係者より、状態を聞く様になっている。	○	今後も、入院時、定期的に家族及び関係者より、状態を聞く様にしていく。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現在ターミナルケアは、実施していない為状況の変化があった場合に、定期的に家族や関係者との話し合いを実施して今後の方針を決めている。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	現在ターミナルケアは実施していないため、状況に応じ関係者との話し合いし今後の方針を検討している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	情報提供を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>				
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>				
50	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の取り扱いについては、入社時に説明し誓約書に署名捺印を頂いている。 言葉かけには常に気を付け接している。	○	今以上の介護態度を身に付けられるよう努力していきたい。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	個人のペースに合わせて、自己決定できるよう支援している。	○	今以上の介護力を身につけ、本人の力を引き出せるよう努力していきたい。
52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個人のペースに合わせて、支援しているが、十分に希望にそった支援は実施できていない。	○	職員体制を充実させ、本人の希望するような支援をしていきたい。
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>				
53	○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	固定した理容・美容店を利用しているが、個人の希望にも応じている。	○	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立から調理まで利用者を巻き込み支援している。また、得意とする作業等は積極的に声かけ、促しを行い、楽しめるよう支援している。	○	作業困難な方の対応を今以上に充実させていきたい。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	利用者の状態に応じて、医師や栄養士に相談して支援している。	○	今後も医師や栄養士に相談をして継続的に支援していきたい。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	さりげなく声かけ誘導を行い、自立支援に向けて取り組んでいる。	○	全職員で排泄支援にむけて、取り組みを行っている。今後も続けていきたい。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	できるだけ一人一人の希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるよう支援している。	○	時間的余裕をもった入浴支援を実施していきたい。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人一人の状態を観察して、休息を促したり、環境を整えて安眠できるよう支援している。	○	不眠時の対応については、医師に相談しながら今後もやっていきたい。
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人一人のできること、できないことを把握して、そのひとらしさが発揮できるよう支援している。得意とすることを楽しみの中に取り入れたりしている。買い物やドライブ、外食等も取り入れ気晴らしや喜びのある生活ができるよう支援している。	○	一人一人の得意なことや楽しみを見つけ、生きがいのある生活ができるよう支援していきたい。


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	管理は職員がしているが、買い物の会計をお願いしたりの支援をしている。	○	お金の支援については、今後検討していきたい。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買い物等戸外活動を積極的に実施している。	○	個人のニーズに合わせた外出支援を計画していきたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	個人の希望は多くあるが、実施できていない。	○	個人の希望にそった外出支援ができるよう支援していきたい。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や身近な方との通信支援は行っている。	○	希望があれば、今後も随時対応していきたい。大きな行事の際、礼状等作成していきたい。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会の方が遠慮なく過ごせるような環境づくりをしている。	○	今後も気軽に訪問して頂けるような環境づくりをしていきたい。
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修等に参加して、全職員で取り組みは行っている。しかし、点滴など医療処置をする場合、やむを得ない状況のときは、家族の了解を得て実施する場合もある。	○	積極的な研修参加や全職員での勉強会を実施していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	○	職員全員で所在確認を心がけていく
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	○	常に状況把握し検討していく
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	○	事故防止委員会との連携をとりながら、今後の自己予防に努めていきたい。
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	○	定期的な研修会を実施していきたい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	○	2階建てのため、色々な状況を設定した訓練を積極的に実施していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	家庭に近い形のケアサービスを提供しているが、色々なアクシデントが起きた際には、誠意をもった話し合いをおこなっている。	○	リスクマネジメントの研修会に参加して、全職員で共通した知識を身に付けていきたい。
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日々の申し送り等で、個々の体調変化は十分な連携が図れ、速やかな対応ができています。	○	病院が併設のため、体調不良時は速やかに外来診察を実施している。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	使用薬については、看護師が注意事項を促して、全職員で症状の変化等には、十分気をつけている。	○	今後も、薬の変更があった場合また、臨時薬の処方があった場合、申し送りを確実に実施し、経過を報告していく。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘の方については、排便の有無を確認し、散歩や買い物を取り入れたりして工夫している。	○	定期的に便秘薬に頼ることなく、利用者の排便コントロールがスムーズにできるように援助していきたい。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	健康は口よりをモットーに食後の歯磨きを徹底している。	○	今後も口腔ケアについても自己能力に応じた対応をしていきたい。現在、義歯でない方の口腔ケアについても今後も充実させていきたい。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	注意の必要な方については、職員が同テーブルにつき、摂取の促しや量の確認に努めている。また、栄養士や医師の指導で補助食品の活用も実施している。	○	生活の中で、食事の重要性を全職員が認識し、食事の楽しさや食欲が増すような工夫を今後していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	入居者、職員全員に対して、インフルエンザの予防接種が実施されている。感染症に対するマニュアルを作成している。	○	次亜塩酸ナトリウム5%にて床や手すりを毎日消毒している。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	洗面所には、ペーパータオルが設置されており、衛生が保持されている。定期的に消毒は実施され、全職員で衛生管理を徹底している。	○	毎日の買い物で新鮮な食材を購入し、安全に努めている。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	家庭菜園を作ったり、花や木を植え、玄関周辺を親しみやすい雰囲気になっている。また入り口には、いすを設置し、皆の憩いの場として活用している。	○	今後も色々検討していきたい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関、居間、廊下に利用者の作品や写真の展示をしたり、室内に植木鉢や花をおいて家庭的な空間づくりをしている。テレビの大きさや、空調、換気等快適に暮らせるよう細かな配慮がされている。	○	今後も工夫していきたい。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファの設置により気のあった方と過ごせる空間をつくったり、所々にいすを置くなどして工夫している。	○	レベルの低下した方も自由な時間を過ごしたり、安心できる場所の工夫をしていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	作りおきの家具を使用しているが、家族の協力等 あり、なじみの家具や物が多くなってきている。	○	より家庭に近い環境を今後も職員、家族と協力し てその人らしい居住空間を提供していきたい。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	換気、空調の配慮は状況に応じて行っている。	○	利用者優位の対応で全職員が心がけて、今後も やっていきたい。
<b>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かし て、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	工夫している。	○	工夫しているが、手すり等改善した箇所も多くあ るも、レベル低下に対応できていない箇所もあ る。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	トイレ、居室の表示等利用者の状態に合わせて工 夫している。	○	混乱の状況に応じて、工夫と知恵を今後も検討し ていきたい。
87	○建物の外周や空間の活用 建物の外周やベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	ベランダは、花を植えたり、時には焼肉など小行 事にも利用している。玄関前で、日光浴などもし ている。	○	今後も色々と工夫していきたい。

(  部分は外部評価との共通評価項目です )



V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

利用者様のペースで、出来る限り家庭に近い形で生活して頂いている。

口腔ケアを毎食後行っている。

二階出入り口が施錠の為、閉じ込められていると言う意識が生まれないように、外気浴や散歩を常に取り入れている。